

## 東京で「中小企業向け『ジギョケイセミナー』」を開催しました

～自然災害に備える事業継続力強化計画の策定と損害保険の活用について学ぶ～

日本損害保険協会 関東支部委員会（委員長：本橋 伸二・三井住友海上火災保険株式会社 コンプライアンス部 地域コンプライアンス部長）は、経済産業省関東経済産業局と共催し、2月3日（火）に千代田区神田淡路町の損保会館で「中小企業向け『ジギョケイセミナー』」を開催しました。当日は、中小企業や中小企業支援団体をはじめ、中小企業診断士、損保会社、損保代理店など、関係者も含めて約100名が参加しました。

セミナーの冒頭、本橋委員長から、自然災害のみならず、サイバー攻撃などのリスクに備えるために事業継続力を策定することは、日本経済を支える中小企業にとって重要な課題となっており、こうしたリスクへの対応力強化の一助となることを目指し、本セミナーを開催した旨の挨拶がありました。

まず講演Ⅰでは、東京都中小企業診断士協会の藤田診断士から、東日本大震災や能登半島地震で被災した事業者の復旧・復興事例や復旧・復興に役立ったことから始まり、事業者のジギョケイ策定・実施にかかる取組の実態や支援するための制度・取組の説明・紹介が行われ、「迅速な復旧に必要な資金調達において損害保険や共済は、非常に有効なリスクファイナンスである。」ことが伝えられました。

続いて講演Ⅱでは、関東経済産業局 産業部 中小企業政策グループの中村係長から、昨年10月に同グループと協会関東支部と共同で実施した、令和6年台風10号にかかる被災地域（神奈川県西部）の商工会および被災企業へのヒアリング結果を踏まえ、「想定される被害の可視化とそれに見合った対策が必須である」ことや、損害保険等で資金調達できる備えをしておくことの必要性が伝えられ、計画の実行性を高め、災害発生時の対応資金（リスクファイナンス）を適切に準備するための支援ツールとして開発された「リスクファイナンス判断シート」の活用や策定事例、入力手順等について解説が行われました。

そして最後の講演Ⅲでは、関東支部委員会を代表して、三井住友海上 営業企画部 SME商品営推チームの宇都宮課長から、災害発生時に損害保険加入と事業継続計画（BCP）策定のいずれも取組んだ場合は、全面復旧するまでの期間が短くなり、ブランド力の喪失を最小限に止めることが出来ることを説明したうえ、事業活動で生じるリスクと備える損害保険や自然災害に備える主な企業向け保険について紹介がありました。

最後に、関東経済産業局 産業部 中小企業課の渡邊課長の閉会挨拶（山中班長代読）の中で、災害リスクが高まる中、事業継続力の向上は、どの立場においても共通の重要なテーマであることから、今日の学びが明日からの実践に繋がり、地域全体の安全・安心に寄与することを願っている旨のメッセージが伝えられました。

セミナー終了後に実施したアンケートでは、受講者全員から、企業を取り巻くリスクに対して、「すぐにも対策を講じようと思う。」「今後何か対策を考える必要があると感じた。」との回答があり、事業継続の為にリスクへの対策が必要であることが確認出来ました。また、「早期復旧のためのリスクファイナンス対策が重要であることを理解した。」「“返済する必要のない資金”をいかに確保するか。日頃から考えておくことが重要であるとあらためて感じた。」と言った感想が寄せられました。

当支部では、今後も関東経済産業局をはじめとした行政機関や関係機関等と連携しながら、中小企業を取り巻くリスクに備える保険の普及を推進してまいります。



開会挨拶をする本橋委員長



中小企業診断士 藤田氏



関東経済産業局 中村係長



関東支部委員会 宇都宮課長



会場の様子



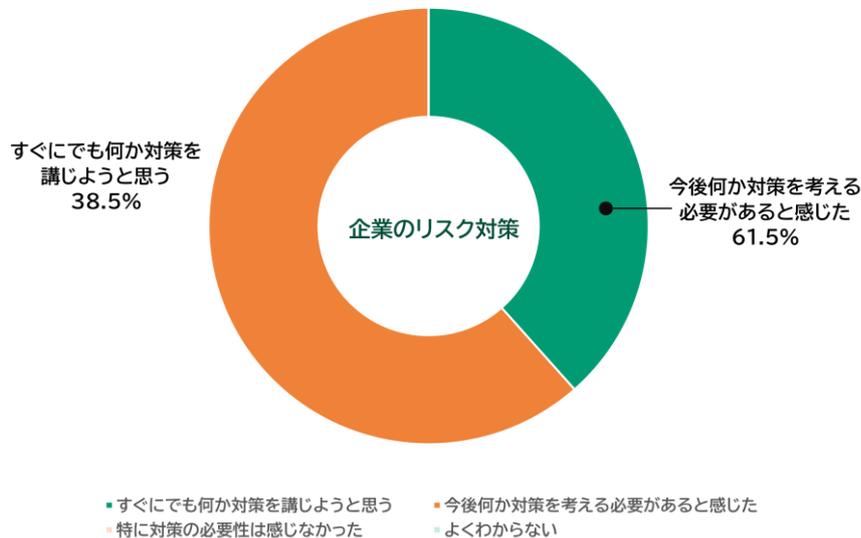
質問に答える  
関東経済産業局 山中班長

【セミナー次第】

- 開会挨拶 一般社団法人 日本損害保険協会 関東支部委員会 委員長  
(三井住友海上火災保険株式会社 コンプライアンス部 部長) 本橋 伸二
- 講演Ⅰ 演題「被災した事業者はどのように復興したか、復興を進める手立てには何かがあるか」  
一般社団法人 東京都中小企業診断士協会 中小企業診断士 藤田 千晴 氏
- 講演Ⅱ 演題「自然災害に備えるための『リスクファイナンス判断シート』活用方法について」  
経済産業省 関東経済産業局 産業部 中小企業政策グループ  
地域連携班 事業継続力強化係長 中村 竜也 氏
- 講演Ⅲ 演題「中小企業の事業継続に必要な保険とは」  
一般社団法人日本損害保険協会 関東支部委員会  
(三井住友海上火災保険株式会社 営業企画部 SME 商品営業チーム 課長) 宇都宮 直人
- 閉会挨拶 経済産業省 関東経済産業局 産業部 中小企業政策グループ 中小企業課長  
渡邊 智彦 氏(山中班長代読)

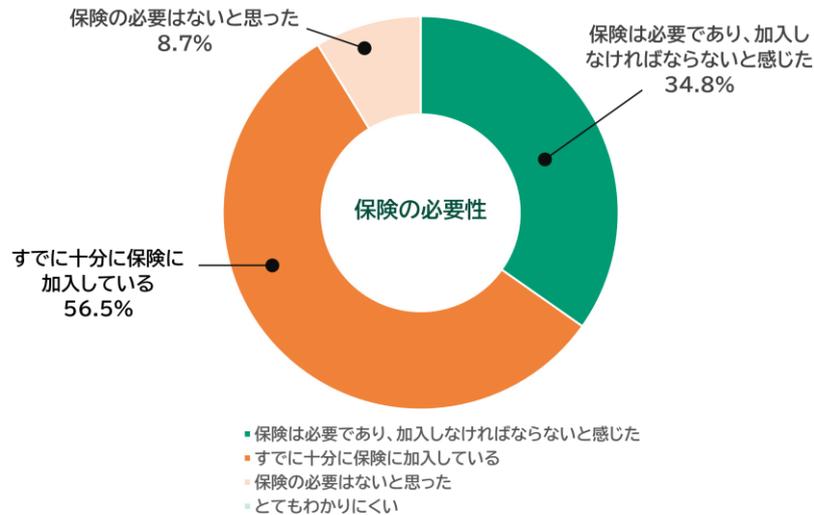
【アンケート集計結果】(抜粋)

本日のセミナーを聞いて、企業のリスクに対してご自身の意識がどう変わったかお聞かせください。



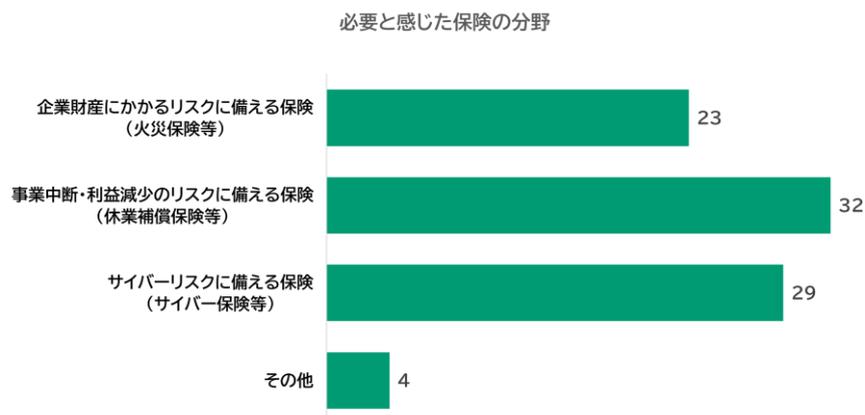
■「すぐにでも何か対策を講じようと思う」「今後何か対策を考える必要があると感じた」と回答した人は100%。今回のセミナーによって、参加者にリスクへの対策の必要性を訴求出来ており、有意義なセミナーだったと思われる。

## 中小企業の事業継続のための保険の必要性について感じたことをお聞かせください。



■「保険は必要であり、加入しなければならない」と回答した人は34.8%「すでに加入している」との回答と合わせると91.3%が保険を必要としている。また「保険の必要はない」との回答者はいなかった。保険の必要性を十分に伝えられていると考えられる。

## 特に必要と感じた保険の分野がありましたら、以下から選択ください。(複数回答可)



■「事業中断・利益減少リスクに備える保険」と回答した人が1番多く、次に「サイバーリスクに備える保険」「企業財産にかかるリスクに備える保険」と続いている。  
■講演Ⅰ・Ⅲのテーマに重なる分野に多くの回答を集めている。

## その他の参加者からのコメント

■返済する必要のない資金をいかに確保するか、日頃から考えておくことが重要であると改めて感じた。その意味では損害保険代理店の役割はとても大切。  
■事業継策定や継続更新の際の分析に、リスクファイナンス判断材料になると思った。  
■多種多様なリスクとそれぞれに対応した保険が分かりやすく明示されていて参考になった  
■もっと講演時間を長くともって良かった。特に現場に実際に行かれた方の声は、参考になった。